

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育課程論 (中・高)		
担当者(Instructors)	アズミ ムクリサフ	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

中学校・高等学校の学習指導要領の性格及び位置づけ並びに教育課程編成の目的・役割・機能等を学び、教育課程の基本となる学習指導要領と歴史的な変遷及び主な改定内容を修得する。また、単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から教育課程や指導計画を編成するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を学び、カリキュラム評価の基礎的な考え方を学ぶ。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義およびグループ・ワークによる活動

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要：学習指導要領の性格・位置付けと教育課程編成の目的・役割・機能等	学習指導要領の性格・位置付けと教育課程編成の目的・役割・機能等を理解する	<input type="checkbox"/>
第2回	学習指導要領の変遷と社会的背景(1)：戦後新教育から教育内容の高度化まで	戦後新教育から教育内容の高度化までを理解する	<input type="checkbox"/>
第3回	学習指導要領の変遷と社会的背景(2)：「ゆとり教育」とその背景	「ゆとり教育」とその背景を理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	学習指導要領の変遷と社会的背景(3)：現代の学習指導要領の特質	現代の学習指導要領の特質を理解する	<input type="checkbox"/>
第5回	教育課程編成の原理(1)：基本原理としての教科中心カリキュラムと経験中心カリキュラム	基本原理としての教科中心カリキュラムと経験中心カリキュラムの比較検討をする	<input type="checkbox"/>
第6回	教育課程編成の原理(2)：教科・領域横断的な教育内容の選択、配列	教科・領域横断的な教育内容の選択、配列を理解する	<input type="checkbox"/>
第7回	教育課程編成の原理(3)：単元・学期・学年をまたいだ教育内容と指導計画	単元・学期・学年をまたいだ教育内容と指導計画を例示できるようになる	<input type="checkbox"/>
第8回	教科外活動：教科外の活動と教育課程との関連	教科外の活動と教育課程との関連を考察する	<input type="checkbox"/>
第9回	総合的な学習の時間：教科横断的な内容の学習内容や地域学習との関連	教科横断的な内容の学習内容や地域学習との関連を考察する	<input type="checkbox"/>
第10回	学力と評価(1)：中間・期末試験、入学試験等の学力試験、PISA型試験	中間・期末試験、入学試験などの学力試験、PISA型試験と教育課程編成の関係を考察する	<input type="checkbox"/>
第11回	学力と評価(2)：形成的評価とルーブリック	形成的評価とルーブリックなどの様々な評価方法と指導方法の関連を理解する	<input type="checkbox"/>
第12回	学習指導要領に即したカリキュラム編成	反転学習などの新たな授業方法・家庭学習と教育課程の関連を考える	<input type="checkbox"/>
第13回	カリキュラム・マネジメント(1)：意義と重要性	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性を理解する	<input type="checkbox"/>
第14回	カリキュラム・マネジメント(2)：取り組みの例と評価の方法	カリキュラム・マネジメントの取り組みの例と評価の方法を知る	<input type="checkbox"/>

第15回	教育課程をめぐる諸問題、本授業のまとめ	これまで学んだ内容についてのまとめと、今後の課題を考える	□
------	---------------------	------------------------------	---

#### ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業の前には、前回学んだことと次の回の内容との繋がりや関わりについて、自分なりに予習をすること（2時間程度）。また、各回の授業後には内容を振り返り、提示された課題に期日までに取り組むこと（2時間程度）。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・各回の授業後に、その回の授業内容の振り返りが出来る課題を提示する。約1週間で課題に取り組んで回答を提出すること。・フィードバックとして、課題に対する解答と解説を、翌週等に行う。・質問等の受付は随時行っており、クラス全体で共有すべきことは、次の授業において解説する。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	「中学校・高等学校の教育課程の意義・編成方法」をテーマとし、下記の到達目標を目指す。 1. 学校教育における教育課程の役割や機能、並びに意義について説明することができる。 2. 教育課程編成の基本原則、学校の教育実践に即した教育課程編成の方法について説明することができる。 3. 教科・領域・学年をまたいで教育課程全体を把握しマネジメントすることの意義を説明することができる。

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験として① 各回の小課題（50%）、②授業内で提示する最終レポート等（20%）を課すので、指定された期日までに提出すること。また、その他として授業への参加度合い（ワークシートの記入、発表、グループワークへの参加・貢献度含む）（30%）を成績評価に加える。

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	田中耕治編著(2018)『よくわかる教育課程第2版』ミネルヴァ書房	9784623082698
2		
3		
4		
5		

#### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「中学校学習指導要領」（平成29年3月 文部科学省）	
2	「高等学校学習指導要領」（平成30年3月 文部科学省）	
3	「中学校学習指導要領解説」（平成29年7月 文部科学省）	
4	「高等学校学習指導要領解説」（平成30年7月 文部科学省）	
5		